平成29年2月

第93号

甲州市教育委員会 **2**32 - 5076

和四十二年に山梨県無形

わる小正月行事で、

昭

山一之瀬高橋

地区に

俗文化財に指定されて

無病息災を願う ・州市の小正月行事

様子についてお伝えします。 今号では、甲州市内各地で行われた小正月行事の

の観客が駆けつけ楽しまれました。雪景色の中で行 していただいています。雪が降る中でしたが、 が披露されました 。 われた春駒は一段と幻想的でした。 後世へ継承していくため、 月八日 (日) に重要文化財旧高野家住宅 之瀬高橋春駒保存会による「春駒」 より多くの方に楽しんでいただ 毎年甘草屋敷で披露 (甘草

た演目は、 翌週 「太鼓乗り」が行われました。 一月一十四日(土)に、塩山藤木地区の小正 「三人吉三巴白浪」 と 「勧進帳」です。 今年披露され

じられました。 されながら、豪快に演 どんど焼きの火に照ら

には地域の方々が集ま なった田野地区公民館 行われました。 区では 同日、 「十二神楽」が 大和町田野地

した。



之瀬高橋の春駒

田野十

します。

好をした「露払い」が

歌に合わせ駒踊

りを

役の「駒」と、

馬子の

格 組

華やかな飾りを付けた馬

よるお囃子から始まり

ます。

笛・太鼓・鉦に

駒踊り

います。 舞・種蒔の舞・笹の舞・翁の舞)にわたって構成さ 舞・剣の舞・ が十二段 れているところから名付けられています。 つ民俗芸能で、 六十年ほど前の明暦年間から始まったと伝えられて 県無形民俗文化財に指定されています。 大和町田野地区の小正月行事で、 県内の他の神楽と比べても珍しい特徴を持 (獅子舞・幣束の舞・汐汲みの舞・ 姫の 「十二神楽」の呼び名は、 舞・鬼の舞・鍾馗の舞・ 平成五年に山 今から三百 神楽の舞 介者の 菱組の









松里地区

多いです。

形でオコヤをつくる組が 区は神社の本殿を模した とで異なります。

神金地

祖神場でつくられます

形状・材料は地区ご

オコヤは市内全域の道



弁慶の首の大数珠は、コロガキで

市内のオコヤ

作られています。

合いで演じて見せます。 役者が、 の上・下・西の地区から出す三台の大太鼓に乗った 州市無形民俗文化財に指定されています。 塩山藤木地区の小正月行事で、 太鼓や鉦に合わせて歌舞伎の名場面を掛け 昭和五十七年に田 藤木地区

月のできごと

ていただきました。 今年も上条のオコヤかけとどんど焼きを見学させ による道祖神の「オコヤかけ」が行われました。 平成二十九年一月七日(土)に上条集落の方々

せ、より本殿を意識したつくりになっています。 ていますが、なかでも上条集落のオコヤは、竹の 垂木や藁の軒付けがある屋根を別につくって載 神金地区のオコヤは神社の本殿を模した形をし

目が釘付けになりました。今年も見事な出来栄え ました。手際よくオコヤが建てられていく様子に 感じた一日でした。 に、集落の皆さんの団結力と伝統の技術を改めて 作業は朝8時から始められ、午後3時に完成し















な楽しいひとときを過ごさせていただきました。 その晩に、新年会が行われ、集落の皆さんと賑やか

られ、その火で繭玉団子を焼きました。焼きたての繭 囲みながら、今年一年の無病息災を祈願しました。 した。 玉団子はとても美味しかったです。どんど焼きの火を 翌週一月十四日(土)に「どんど焼き」が行われま オコヤは手際よく解体され後、豪快に火にくべ







りを体験されました。 シブ5時」の番組内で、上条集落及び甲州民家情報 使われました。参加者の方々は、 所主催の「ほうとう教室」で、会場として情報館が 館が全国に紹介されました。内容は、ふたねや製麺 月二十四日(火)の放送のN H K 「ニュース ほうとうの麺つく

間の生中継でつながり、全国の方々に上条集落の歴 はないでしょうか。 史について知っていただくきっかけにもなったので 東京のN H K スタジオと甲州民家情報館が六分





リハーサルの様子

らせ

第八回歴史的風致散策

時

二月十九日(日)

 \Box

午前九時~午後三時

参加費 集合場所 甲州市役所本庁舎 東側駐車場 無料(交通費・保険料は別途)

※昼食をご持参ください ※歩きやすい服装でご参加ください

申込 み 文化財課まで(☎ 三二-五〇七六)